土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　その他河川天地川支川１　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　橋梁・高架

ボーリング名	支川1-No.2	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦4丁目	北緯	34° 18' 26.8700"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2021／ 8／24～2021／ 8／26	東経	132° 30' 37.4500"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 49.35m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	10.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：ヤンマーTF120M / ポンプ：東邦BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	48.95	0.40		礫混じり砂		黒茶褐			工事用道路の盛土。 表層はアスファルトおよび砕石。 細～粗砂主体でやや細粒分を含む。 φ20～50mm程度の亜角礫を含む。	
1	47.45	1.90		礫混じりシルト混じり砂		褐灰～黒	rd2		細～粗砂主体。 細粒分混じる。 φ10～30mmの亜角礫を全体に含む。	8/25 1.70
2										8/26 2.50
3	45.85	3.50		玉石混じり礫混じり砂		褐灰	rd3		細～粗砂主体。 礫はφ2～30mm程度の亜角礫主体。 特に2.0～2.5m付近に礫多く含む。 GL-2.0m付近にφ40mm亜角礫混じる。 GL-2.7～2.8m間、L＝10cmの花崗岩玉石。 GL-3.0m付近、L＝3cmの玉石混じる。	3.00
4						褐灰～白灰	rd4		φ2～10mmの礫主体。砂は細～粗砂。 L＝4～40cmの玉石混入する。 玉石はおおむねL＝10cm以下で、GL-5.0～5.4m間はL=40cm 玉石。 玉石は硬質な細粒花崗岩及びやや風化した粗粒花崗岩である。	
5	43.85	5.50		玉石混じり砂礫						
6	43.15	6.20		礫混じりシルト質砂		褐灰			細～粗砂主体。 全体的にφ2～20mmの亜角礫含む。 GL－6.0m付近、粗粒花崗岩の風化礫を混在する。	
7				花崗岩		褐灰～灰褐			風化した粗粒花崗岩。 GL－8.3mではDH級を呈し、礫状～岩片状コアで採取される。 密着亀裂が無数にある。部分的に脆弱である。 GL－8.3mよりCL級主体となり、短柱状コアで採取される。 ハンマー打撃により濁った金属音を発する。 コア肌は粗い。	
8										
9										
10	39.35	10.00								
11										
12										
13										
14										
15										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	2	2	3	7/300		
	1.45						
31	2.15	9	9	13	31/300		
	2.45						
20	3.15	6	7	7	20/300		
	3.45						
35	4.15	11	11	13	35/300		
	4.45						
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	6.10	50			50/100	100	
	6.20						
50以上	7.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	8.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	9.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	10.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験
3.15	P-2-1	⊖	粒度
3.45			
4.15	P-2-2	⊖	粒度
4.45			

削孔月日：8/24、8/25、8/26